

一般質問

問 災害時対応のタイムラインの進捗状況は

答 基本的な骨格が完成

藤丸高德議員

タイムライン（事前防災行動計画）について、今までの進捗状況が、また関係機関とのような連携が出来つつあるのか。

岩崎憲郎町長

基本的な骨格が出来上がり、これから関係機関等と（国土交通省、警察、気象台、県、消防）机上での訓練、地域のタイムライン計画を作成し、訓練を行っていく。

一般質問

問 大豊創生には若い人達の意見等を聞き進めてはどうか。

答 町民の声を聞き進めている

三谷幸一郎議員

平成23年3月11日に発生した東日本大震災で壊滅的な被害が発生、今各市町村では全力で復興に取り組んでいる。そんな中復興をいち早く行っている宮城県女川町では、復興への合言葉として「還暦以上は口を出すな」で将来ある若い人達を中心に行っているとの報道があった。人口減少率全国3位の大豊創生に

岩崎憲郎町長

町民の意見を聞くということは基本的な使命でもある。これからも幅広く町民の声を聞き進めていく。

一般質問

問 投票率アップに繋がる対策はないか

答 期日前投票を呼びかける

三谷幸一郎議員

過疎地域に住む高齢者などは、「投票に行きたくても投票所が遠方にあるため行くことが困難だ」との声を沢山聞いた。今年4月の県議選を最後

に奥大田地区の投票所が廃止されること。このまま人口減少が続くと更に投票所が廃止になります。1票を投じることが困難となり投票率は低下する一方で、投票難

高知県議会議員選挙

期日前投票所



期日前投票所（大豊町農工センター）

一般質問

問 大豊町の地方創生について人材派遣の可能性は

答 応募は高知県下で本町のみ

重森一宗議員

地方創生で石破創生大臣に訴えた100年の森づくり事業の内容と専門職の人材派遣の可能性について。

岩崎憲郎町長

林業を中心として、高知おとよ製材の創業開始、近々完成するチップ工場、日本で初めての建築である木造のビルディングの建設（CLT）、

現在計画を進めている木質バイオマスによる発電所の建設、ストックヤードの建設、そしてCLT関連の製造工場等の誘致などの取り組みについて石破大臣に説明を行った。人材派遣は、シテイマ

ネージャーという、国が支援をする制度が今回地方創生本部で発足、応募したのは高知県では本町のみだが、全国から120を超える市町村が国の職員

一般質問

問 住宅の必要性が増しているのではないか

答 民間活力による整備を検討

重森一宗議員

介護認定制度に要支援1・2要介護1・2の段階がある。3・4・5の段階がある。今年から要支援1・2要介護1・2の方は施設に入所できなくなり高齢者住宅の必要性が増している。町長の取組として高齢者・若者も含めた住宅の建設には民間活力によ

り取り組むといわれているがどう取り組むのか。

岩崎憲郎町長

町内の公共施設を利用して住宅への転用、民間企業と連携した建設について財政的な支援等を行い、民間で運営するという形で検討中。

一般質問

問 大豊町ゆたかな森づくり条例の執行状況は

答 町民の意見を聞き進める

重森一宗議員

条例の基本的計画の第8条に、町長は計画を定めるに当たって、あらかじめ町の森林所有者、町民等、事業者及び有識者の意見を聞かなければならないとなっている。100年の森づくり事業を進めるためにも早期に対応を。

重森一宗議員

条例第11条に、町はゆたかな森づくりに対する理解を促進するため、9月を大豊町ゆたかな森づくり月間と定め、森林に親しみふれあう機会の充実等に必要措置を講ずるものと規定されているが計画はあるのか。

岩崎憲郎町長

条例に基づくその場を作った経過はないが、町民の意見も聞いて進める。

岩崎憲郎町長

具体的な計画はないが条例の主旨を活かす方向で検討を進める



チップ工場（21世紀センターの跡地）

一般質問

問 10月1日の国勢調査について調査対象は厳格に

答 適正な調査の徹底を図る

重森一宗議員

前回の平成22年度国勢調査から今年の10月1日国勢調査には約700人の減少が見込まれ国からの交付税が約2億円削減されると予測されている。このことから国勢調査に向けて町長は町民に対して「徹底した調査に努めてまいります」と報告され

ているがどのような情報発信をしていくのか。

岩崎憲郎町長

国勢調査は大切な調査であり、啓発に努め適正な調査を徹底する。

